

## 集会宣言 (案)

私たちコミュニティ・ユニオン全国ネットワークは10月5日～6日、姫路市で第31回全国交流集会を開催した。第1回の全国交流集会は1989年青森県弘前市で開催され、翌90年の大分集会でコミュニティ・ユニオン全国ネットワークは結成された。今年の全国集会は30周年の集会でもある。

ここ兵庫県で全国交流集会が開催されたのは、阪神大震災の翌年である、1996年11月であった。阪神大震災直後、全国の仲間の全面的な支援体制の中で「労働・雇用ホットライン」を開設し、結成した「被災労働者ユニオン」の活動は、ユニオンが全国統一闘争として闘ったはじめての闘いであり、ユニオン運動に自信と確信を持つことができた。

23年ぶりの兵庫開催となった2019年10月は、川崎造船所の労働者たちが、日本で初めて8時間労働制を闘いとってからちょうど100年目を迎える年でもある。

安倍政権は、働き方改革と称して8時間労働制に風穴を開けた。相対的貧困率はOECD諸国の中でも高い水準にあり、非正規雇用労働者は40%に近づき、年収200万円以下の労働者数は1000万人を超えている。賃金水準が下がり続けているのは先進国の中では日本だけである。また、労働組合法を否定しまともな組合運動を威力業務妨害だと全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部の仲間たちを次々と逮捕し長期に拘留し続けている。憲法・労働組合法違反の国家的不当労働行為を絶対にゆるしてはいけない。政府はこうした現状を覆い隠そうと統計の偽装まで行ったことが明らかとなった。森友・加計学園の不正を一切認めず、政権の不正は覆い隠している。

さらに、韓国大法院の徴用工に関する賠償判決に対する経済報復である韓国への輸出規制措置を一方向的に発表し日韓の関係を意図的に深刻に悪化させている。

私たちは、本日の集会に、韓国非正規職労働団体ネットワークの仲間を迎えて交流を深めた。今、私たちに求められていることは全世界の労働者が団結と連帯を深めることだ。労働者には国境はない。安倍政権による労働組合つぶしや民主主義の否定、差別・分断の攻撃を許さないことを確認した。

私たちは、世界の労働者たちが命を懸けても民主主義を守ろうとする闘いや沖縄の闘いに学びたい。

ひょうご姫路集会で誓い合ったことを全国各地に持ち帰り実践し、来年はもっと力を付け、神奈川の地で再会することを約束しよう。

2019年10月6日

第31回コミュニティ・ユニオン全国交流集会 in ひょうご姫路参加者一同

## 特別決議「全日建連帯関西生コン支部への大弾圧を許さない！」(案)

全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部（「関生支部」）に対する、警察権力による弾圧が続いています。建設現場の法違反を告発するコンプライアンス活動やビラまきを「恐喝未遂」「威力業務妨害」、ストライキを「威力業務妨害」、アルバイトの正社員化要求を「強要未遂」、保育所へ提出する就労証明書の発行催促を「強要未遂」といった具合に、当然かつ正当な労働組合活動を「犯罪」にでっち上げ、さらには、ストライキ現場にいなかった役員を共謀共同正犯で逮捕するなど、滋賀・京都・大阪・和歌山の4府県の警察・検察が競うように不当な逮捕・起訴を繰り返しています。昨年7月以降、これまでに再逮捕を含め延べ90名近くが逮捕され、うち50名以上が起訴。委員長・副委員長は再逮捕を繰り返して1年以上にわたり長期勾留され続けています。逮捕された組合員本人ばかりか家族にまで組合脱退を促すなど、組合の組織破壊をあからさまに意図したものです。

関生支部は、中小企業がほとんどの生コン企業を協同組合に組織し、集団交渉と共同受注によって交渉力を高め、ゼネコンやセメント大手などの大資本と対抗。賃金などの労働条件や安全衛生環境の大幅な向上を勝ち取るのみならず、いわゆる「シャブコン」問題や過積載などの法令違反が横行し、暴力団が暗躍していた業界の近代化にも大きく貢献してきました。また、戦争法制や共謀罪法、労働法制改悪に反対する運動や沖縄の米軍新基地建設を阻止する運動など、政治課題にも積極的に関わってきました。

この関生支部への刑事弾圧を、商業マスコミは警察発表を垂れ流し、誹謗中傷宣伝の片棒を担いでいます。しかし、こうしたデマ宣伝に惑わされてはなりません。甲南大学名誉教授・熊沢誠氏は、「およそ民主主義国家の法的な到達点を無視する、常軌を逸した組合つぶしの試みであり、労働運動史でもまれに見る公然たる労働組合運動の否認」だと厳しく指弾しています。また、共謀罪対策弁護団共同代表の海渡雄一弁護士は、「労働組合の日常的な活動の一部を『犯罪』事実として構成し、これに関与した組合員を一網打尽に検挙し、デジタル情報の収集によって関係者間の共謀を立証することで犯罪としようとしている点において、共謀罪型弾圧の大規模な開始を告げるものだ」「政治的な系列や労働運動上の方針の違いを乗り越えて、最初に共謀罪型弾圧のターゲットにされた生コン支部を幅広い勢力によって支援することが、弾圧拡大を食い止める上で、決定的に重要である」「この弾圧を見過ごしてはならない」と訴えています。

私たちは、すべての労働組合、社会運動への弾圧であると受け止め、警察・検察に強く抗議するとともに、今なお勾留されている組合員をただちに釈放するよう求めます。そして、関生支部を支援し、あらゆる弾圧を許さないために闘うことを、ここに決議します。

2019年10月6日

第31回コミュニティ・ユニオン全国交流集会 in ひょうご姫路 参加者一同